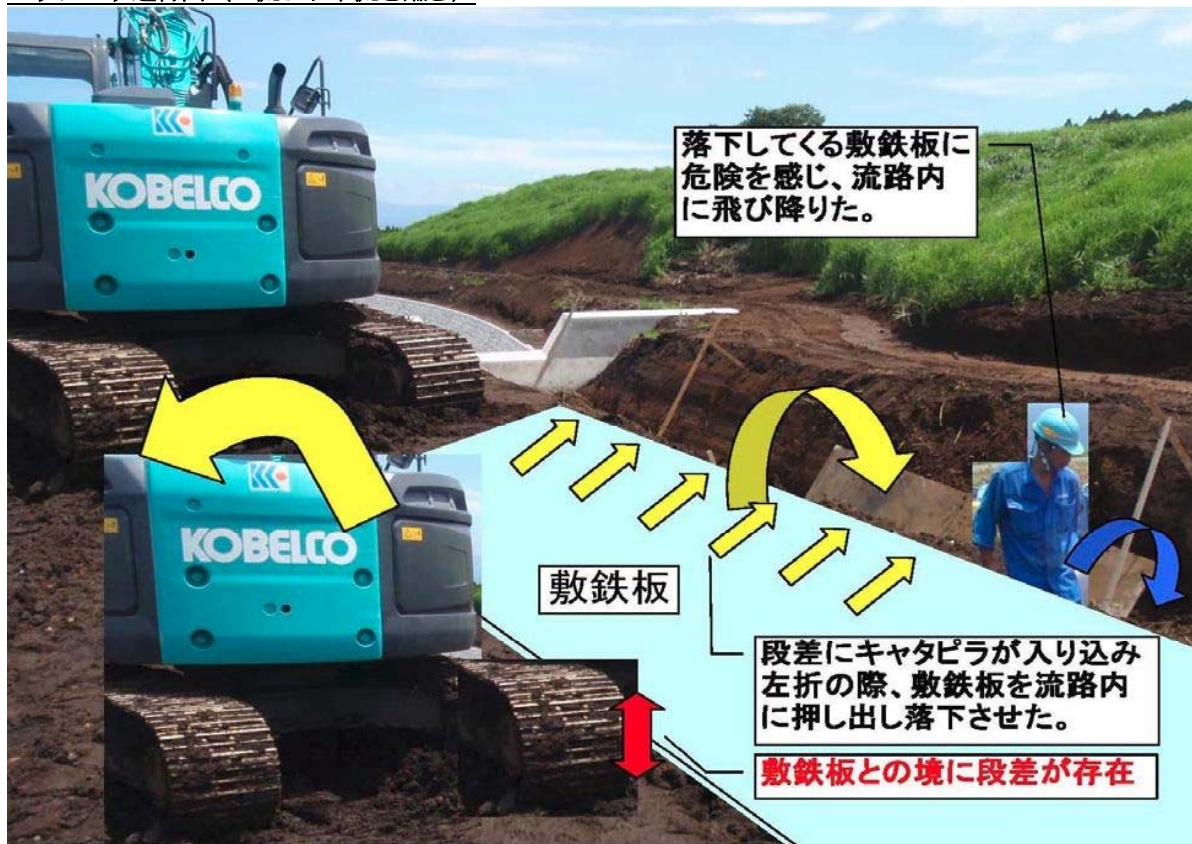


事例周知・再発防止 [平成26年度発生事例]

災害の種類	労働災害：飛来・落下	工事区分	河川護岸工事
事故内容	落下した敷鉄板との接触による負傷	被災者 性別・年齢	男性・55歳
被災状況	左大腿骨骨幹部骨折	被災者 職業	普通作業員
<p>[災害の概要]</p> <p>□現場の状況： ブロック積の胴込め作業中</p> <p>□事故の概要： 平成26年7月11日（金曜日）10時50分発生</p> <p>バックホウ（クレーン機能付き）が、敷鉄板の脇で方向転換しようとしたところ、敷鉄板（1.5m×6.0m）の端をキャタピラで押し、流路工内にすべり落とした。被災者は落下する敷鉄板が自分に当たりそうになったため、流路工内（左岸河床）に飛び降り回避した。しかし、飛び降りたところ、右岸基礎工に落下した敷鉄板が跳ね返り左岸河床にいた被災者の左太腿に倒れてきた。</p> <p>□安全対策の有無： 安全訓練、KY活動実施</p>			
<p>[再発防止策]</p> <p>□問題点</p> <p>①敷鉄板は、受注者の企業努力により法肩保護と法肩崩壊による重機の転倒・転落防止のため設置した。豪雨後の対応について施工計画書への記載はなかった。</p> <p>②7月10日（木）の豪雨（現場設置雨量計で約95mm/日）の影響で、敷設部と地面との境に10～15cm程の段差が生じていた。また、地面と敷鉄板の間に薄い水の層ができており滑りやすくなっていないか確認していなかった。</p> <p>□防止対策</p> <p>①降雨後は、地耐力が回復したのちに作業を再開する。</p> <p>②アジテータトラックはバックホウに横付けして、生コン打設を行う。</p> <p>③バックホウでクレーン作業をする際は、旋回のみを行う。</p> <p>④重機誘導員を適正な位置に配置し、専任させる。</p>			
<p>[事故の状況が判る写真又は図面]</p>			
事故の概略	<p>1号落差工～2号落差工間（左岸）のブロック積の胴込めコンクリートを充填中</p> <p>①0.8m3BHが、左へ旋回</p> <p>②キャタピラに押し、天端+1.5m上の敷鉄板が落下 *同時に被災者は危険を感じ2.5m下の左岸河床に飛び降りる</p> <p>③敷鉄板が、右岸土台工に落下</p> <p>④左岸側に倒れこみ、被災者の左足を挟み込む</p>	<p>(概略図)</p>	
備考	<p>雨によりぬかるみ敷鉄板との境に段差が生じキャタピラが通常より低い位置を走行</p> <p>走行 キャタに押される</p>		

[事故の状況が判る写真又は図面]


バックホウ通行面 (上流より下流を臨む)



流路内 (上流より下流を臨む)



事故発生周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

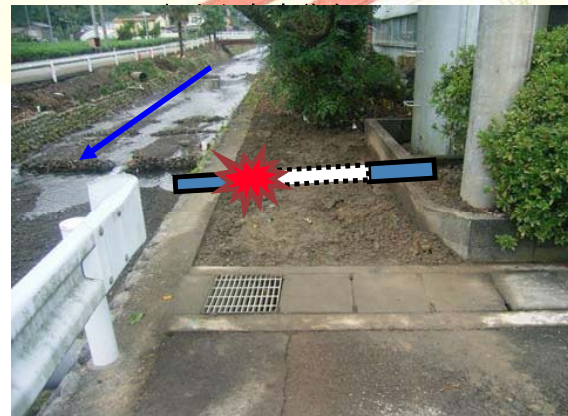
災害の種類	労働災害：その他	工事区分	河川工事
事故内容	電動グラインダーと足首の接触	被災者	性別・年齢 男性 32歳
被災状況	右脛骨開放骨折		職業 土木作業員
<p>〔災害の概要〕</p> <p>□現場の状況： 主任技術者と作業員2名で護岸裏埋戻し作業を行っていた。主任技術者と作業員1名でバックホウによる作業を行い、残る作業員1名が既設塩ビ管(φ150)の補修を行っていた。</p> <p>□事故の概要： 日時：平成26年10月 9日(木曜日) 11時45分頃 場所：静岡市葵区内牧地先 (一)内牧川左岸 概要：作業員1名で破損していた既設塩ビ管(φ150)を電動グラインダーで切断補修中に、塩ビ管にグラインダーが弾かれた拍子に作業員自身の右足内側くるぶし上部分に接触 傷病の程度：入院1週間・全治4週間程度(10/20日退院予定)</p> <p>□安全対策の有無： 当日の作業前に新規入場者教育、KY活動を実施している。</p>			
<p>〔再発防止策〕</p> <p>□問題点</p> <p>① 不十分な保護具での作業 作業時は安全たびを履いていたが、足首部分の保護が不十分であった。</p> <p>② 不十分な作業時安全指示 電動切断機による事故事例等が、社内や現場で共有されずにKY活動で重要事項とされなかった。</p> <p>③ 緊急時の連絡体制の不備 事故発生後の警察など関係機関への連絡が速やかに行われなかった。</p> <p>□防止対策</p> <p>① 軽微な作業でも作業時の保護具に革製安全靴(ブーツタイプ)の着用を原則とする。</p> <p>② 電動グラインダーに『作業は革製安全靴(長靴タイプ)着用！』のステッカーを張る。</p> <p>③ 作業安全指示は、朝礼だけではなく、休憩時間が終了後の作業再開時に再度行う。</p> <p>④ 月例の社内全体会議で事故等発生時の現場及び社内の連絡・対応体制を周知する。</p> <p>⑤ 下請け業者を含めた緊急安全大会で、今後予想される災害と防止対策について危険予知訓練を実施した。</p>			
		<p>既設塩ビ管(φ150)が破損していたので補修をする為電動グラインダーで切断しようとした際、グラインダーが滑って足首に触れてしまった。</p>	

事故発生周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

〔事故の状況が分かる写真または図面〕



着手前



横断面

